

令和7年度使用小学校用教科用図書の採択結果等について

学校名	広島大学附属小学校
-----	-----------

種 目	発行者	採 択 理 由
国語	東書	児童に身につけさせたい『言葉の力』が示されており、全学年を通した一貫した指導を行うことができる。児童が『言葉の力』を意識しながら国語科の学習を進めることで、ほかの教科の学習や実生活の中に生きる言葉を自覚し、必要な言葉の力を身に付けることができる教科書である。
書写	東書	どの単元も、「見つけよう」「確かめよう」「生かそう」「ふり返って話そう」という構成になっており、文字を整えるための原理・原則を児童が自ら発見することができるようになっていく。正しく整った文字を書くために必要な要素を児童自身が気づき、学習を進めることができる教科書である。
社会	日文	資料のユニバーサルデザイン化、それに対応した文章表記等、資料の読み取りやすさに特筆すべき点がある。また、教科書からQRコードを通して、デジタルコンテンツへのアクセスが非常に容易に行えて、資料も豊富である。
地図	帝国	各発達段階への配慮がされていて、すべての子どもが使いやすく親しみやすい地図帳となっている。デジタルコンテンツも豊富で、自分で手に取って学びたくなく地図帳となっている。
算数	東書	算数科における資質能力の育成に向けて、領域別に学習内容の系統性や数量関係を表す図の系統表が示されており、教員にとっては、1年間及び6年間の指導に見通しが持ちやすい構成となっている。また、算数問題やQRコンテンツの質及び量が充実しており、教科書を使って子ども自ら学習していくのにも十分活用できる教科書である。
理科	学図	理科の学習での学びを振り返られるように整理されている。理科の問題解決過程が単元全体、1単位時間を通して明確に分かるように整理されている。「問題を見つけよう」という理科学習における大切な導入段階での子どもの思考を大切にしている。観察・実験に至るまでの子どもの考えを図式化したり写真で示したりしてある。考察したことをまとめ、理科の言葉をそれぞれの学習段階に合わせて明記している良さがある。
生活	東書	発達段階や、児童の興味・関心に即した内容が構成されており、多様な視点から学びを深めることができるようになっていく。写真や図が大きく配置されており、学習内容や方法が分かりやすく整理されている。生活科における気付きをどのように表現・交流していくのか図でまとめてあり、低学年の児童にとって、有効な手立てとなる。探検や観察の視点などが学習内容毎に整理されているため、身近な人々、社会及び自然を捉える効果的な要素となる。巻末には便利手帳や図鑑などがあり、実際の生活との関連を図ることができる良さもある。
音楽	教芸	一つの音楽要素に対し、様々な楽曲・活動で取り組めるように題材が整理されており、充実した学習が見込める。また、二次元コードを読み取って音源を聴いたり音楽をつくったりすることができるようになっており、教科書という紙面が実際の音・音楽の理解に直結するよさがある。
図画工作	開隆堂	国内外の美術作品が多く紹介されるなど鑑賞ページが充実しており、発想力や想像力の広がりや表現と鑑賞の一体化が図りやすい。表現活動では、多様な造形表現を扱い、表現そのものの楽しさや心地よさ、発想力や創造性を大事にする観点が随所に示されている。
家庭	東書	調理や製作の手順・やり方が分かりやすく示されている。要点や安全に関わる所に注意・配慮しながら活動が進められるよう工夫されている。題材の領域が色で工夫され、振り返りがしやすく、実生活のレシピ帳としての役割も果たす。学習段階が円グラフで示され、多岐にわたる技能が、生活のどの場で役立つのか理解できるよさがある。
保健	大修館	どの単元も「調べよう、考えよう、まとめ」という構成になっており、健康に関する課題を自ら見つけ、自分のこととして考え、振り返ることで主体的に学ぶことができる。また、イラストやグラフ、二次元コードから関連した動画を見ることができ、学びを深めることができる。また、附属中・高が本会社の教科書を使用しており、系統的に学び、理解を深めることができる。
外国語	東書	VUCA時代を生き抜くことが求められる現代社会において、外国語学習初期段階にあたる小学生の発達段階に合致した身近に感じられる題材を用いて、学習の系統性を考慮しながら、段階的に習得・活用を繰り返し、言語活動を通して効果的に言語を習得させるための工夫が見られる。基礎から発展的活動へとわかりやすく導く構成、取りあげられている題材、「聞くこと」「話すこと（やり取り・発表）」の技能獲得がなされやすい言語活動の設定等の観点から判断し、本校児童の実態にも即しており、適切であると考えられる。
道徳	光村	手引きの欄では学習課題を明らかにし、主体的な学びへと導くめあて・道徳的な問題を押さえる問いや道徳的価値について考えを深める問い・自分に引きつける問などが掲載されており、児童の思考を促す内容になっている。また、読み物教材や一枚の絵から考える教材など、資料の形式も多用に掲載されており、視覚的に分かりやすい構成となっている。